

岩手県立大学高等教育推進センター国際教育研究部

言語学講演会・ワークショップ（2024年1月20日、岩手県立大学アイーナキャンパス）

対象物の結果状態の表現 — 諸方言と古典語を視野に —

白岩広行（立正大学）

本発表は以下の研究助成による成果の一部です。

- ・ 国立国語研究所共同研究プロジェクト「消滅危機言語の保存研究」
- ・ JSPS科研費19K00622（福島県相双方言の調査研究－方言研究は被災地にどのように貢献できるか－）
- ・ JSPS科研費21H04351（日本語諸方言コーパスによる方言音調の比較類型論的研究）

自己紹介

【出身】

1982年福島県伊達市保原町生まれ

【専門】

日本語の方言の記述研究

- ・特に福島県北部の方言を軸に記述
- ・その一環としてヴォイスも記述



[補足：福島県北部方言]

この発表では福島市・伊達市・伊達郡の方言を「福島県北部方言」と呼びます。例文は母語話者である白岩の内省によります。白岩は18歳まで福島県内で生育しました。ただし、自発表現の使用にはかなり個人差があるようです。例文の表記法は白岩(2018)によります。



【対象とする形式】

- 現代福島県北部方言の逆使役構文（書かっている）
 - 現代標準語のテアル構文（書いてある）
 - 古典語の非情の受身（書かれたり）
- ……よく似ている

【どこが似ているか】

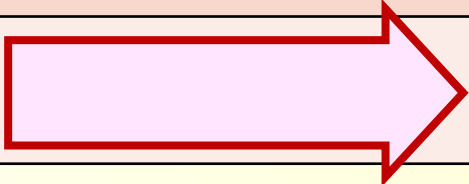
- a) 主語が非情物
- b) 状態性の形をとって対象物の結果状態を表す
- c) 動作主の表示ができない

(1) 黒板さ 字 書かっている。(福島方言)

対象物の結果状態

【通時的・地理的にどんな関係か（推測）】

	古典語	現代語
東北方言	？	逆使役構文
中央語	非情の受身	テアル構文



- 中央語では近世以降にテアル構文が発達
- テアル構文は東北方言には広まらなかった

【なぜ東北方言にテアル構文がないか（推測）】

- 中央から地理的に離れているから
- テアルが別の文法化の道をたどったから
（過去表現テアツタ > タツタ）

意志的な
動作主を消す

■北海道方言サル（佐々木2007）

- (2) 私はご飯が食べらさる。【自発】
（＝私は自然にご飯を食べてしまう。）
- (3) このペンはよく書かさる。【可能】
（＝このペンはよく書ける。）
- (4) 大きな丸が書かさってる。【逆使役】
（＝大きな丸が書いてある。）

諸方言での報告をまとめると……

(北海道—佐々木2007、盛岡市—竹田1998、宮城県—齋藤1961・工藤2014、山形市—渋谷2006、福島県北部—白岩2012、宇都宮—加藤2000、静岡県大井川流域—中田1981、熊本市—坂井2015)



	形式	用法
□	-asar	自発・可能・逆使役
○	-ar	自発・可能・逆使役
●	-ar	逆使役

宮城・福島・熊本の-ar
逆使役に特化

福島県北部方言の逆使役構文

(5) 先生が 学生に 字 書かせてる。

使役

(6) 学生が 字 書いてる。

逆使役

(7) 字が 書かっている。

意志的な動作主が消える

[補足：格標示・動詞の自他]

福島県北部方言では、基本的に、主語、目的語は無助詞になることが多い（白岩2023）。ただし、本発表では格関係を明示したいときに限り、主語を「が」で示す。「を」を使うのは非常にまれなため、目的語は無助詞のままとする。

福島県北部方言の逆使役接辞-arは基本的に他動詞にのみ接続する（白岩2012、新沼2023）。

標準語では……

(8) 先生が 学生に 字を 書かせてる。

使役

(9) 学生が 字を 書いてる。

テアル

(10) 字が 書いてある。

福島の逆使役構文……標準語のテアル構文に相当

逆使役用法とテアル構文

逆使役構文とテアル構文の共通点

- a) 主語が非情物
- b) 状態性の形をとって対象物の結果状態を表す
- c) 二格による動作主の表示ができない

a) 主語が非情物

(11) お菓子、箱に分けらってる。(福)

お菓子が箱に分けてある。(標)

(12) *生徒、部屋に分けらってる。(福)

??生徒が部屋に分けてある。(標)

cf. 生徒を部屋に分けてある。(標)

b) 状態性の形をとって対象物の結果状態を表す

(13) a. *大きな丸、書かった。 (福)

b. 大きな丸、書かっている。 (福)

c. 黒板さ書かった大きな丸 (福)

……必ず状態性の形をとる
(宮城・福島・熊本に共通の特徴)

(14) 大きな丸が書いてある。 (標)

b) 状態性の形をとって対象物の結果状態を表す

(15) (洗濯物を干す作業を見ながら)

*次々と服、干さってる。(福)

*次々と服が干してある。(標)

進行

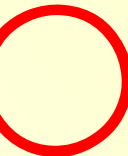


(16) (洗濯物がきれいに干された状態を見て)

きれいに服、干さってる。(福)

きれいに服が干してある。(標)

結果



c) 動作主の表示ができない

(17) 布団、敷かっている。 (福)

布団が敷いてある。 (標)

(18) *仲居さんに布団、敷かっている。 (福)

*仲居さんに布団が敷いてある。 (標)

古典語の非情の受身

- a) 主語が非情物
- b) 状態性の形をとって対象物の結果状態を表す
- c) 二格による動作主の表示ができない
 - ……古典語の非情の受身も同じ

以上の用例を観ると、非情の受身においては、動作・作用を加へるものは、いずれの場合もほとんど問題にされてをらず、従つて誰がしたかといふ動作性は極めて稀薄になり、その結果としてある状態性の方が重要視されてゐることに気づく。このことは非情の受身には、ほとんどの場合、存在継続の「たり」または「り」が下接されてゐることによつても明らかである。「たり」も「り」も下接語に無い場合は、「あり」か「侍り」か「無し」等、存在や状態を表はす語が必ず下にある。（小杉1979:484）

- (19) 御几帳の、しどけなく引き遣られたるより、御目とゞめて、見透（とほ）し給へれば、（源氏・花宴）
- (20) 薄二藍（うすふたあゐ）なる帯の、御衣（ぞ）にまっはれて引き出でられたるを、みつけ給ひて。（源氏・霽標）

非情物の結果状態

小杉（1979）、金水（1991）参照

学生が 字を 書いた。

非情物の結果状態の表現

【福島方言】 字 書かっている。 (逆使役構文)

【現代標準語】 字が 書いてある。 (テアル構文)

【古典語】 字 書かれたり。 (非情の受身)

[補足]

本発表では中古の和文を指して古典語と呼びます。

金水（1991）によると、同じ中古の日本語でも、漢文訓読文では近代以降の欧文翻訳調の非情の受身と似たものが見られるとされます。

日常のできごとを平易な口語で書く和文と、日常を離れた抽象度の高い内容を書く漢文訓読文では文体が異なり、非情の受身の特徴も異なるとされています。

全国諸方言における非情物の結果状態の表現

全国の方言では非情物の結果状態を
どのように表現しているか……？

談話資料で非情物の結果状態を意味する例を
すべて拾い、どんな構文を使っているか集計

【全国方言談話データベース】 (国立国語研究所編2001-2008)

- 各都道府県1地点（沖縄県のみ今帰仁、平良の2地点）
- 1900～1920年前後生まれの話者
- 1地点の談話は20～40分程度
- 標準語訳がコーパスとして利用可能
（国立国語研究所「日本語諸方言コーパス」、
方言発話は利用不可能）

非情物の結果状態を意味する例を拾う

【調査】

- 標準語訳が「てある」「られている」「られてある」の箇所（活用形含む）をすべて検索し、そのうち非情物主語の例を拾う
- 標準語訳に対応する方言形を地点ごとに集計

方言でどんな形式を使っているか

[補足]

- 「てある」の否定形「てない」は、「ていない」の縮約形と区別がつかないので除外
- 行為の有効性を表す「てある」（例：任せてある）、一般的事象を表す例（例：（猟が）禁じられている）は、結果状態と見なしがたいので除外

表1-1 各地点の談話資料における対象物の結果状態の表現

	東京	千葉	埼玉	栃木	茨城	福島	山形	宮城	秋田	岩手	青森	北海道
テアル	6	7	0	2	1	0	0	0	0	1	0	3
テアル 以外	0	0	自1	0	逆1	0	他1	逆1	他1	0	0	他1

逆：逆使役構文、他：他動詞文、自：自動詞文、置：テオク、不：不明

テアルー方言発話におけるテアル構文の用例数

テアル以外一方言発話におけるテアル以外の構文の用例数

(漢字は具体的にどの構文かを表す)

表1-2 各地点の談話資料における対象物の結果状態の表現

	福井	石川	富山	三重	愛知	岐阜	静岡	山梨	長野	新潟	群馬	神奈川
テアル	4	2	0	0	3	0	2	1	1	2	4	2
テアル以外	他1	0	他2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	香川	山口	広島	岡山	島根	鳥取	兵庫	大阪	和歌山	奈良	滋賀	京都
テアル	3	3	8	1	5	1	1	0	9	4	9	5
テアル以外	0	他2	0	0	他1	0	他2	0	0	0	白1	0

表1-3 各地点の談話資料における対象物の結果状態の表現

	平良	今帰仁	鹿児島	熊本	長崎	佐賀	宮崎	大分	福岡	高知	愛媛	徳島
テアル	0	0	5	2	0	3	1	3	0	2	5	17
テアル 以外	置1	0	不0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

他：他動詞文、逆：逆使役構文、自：自動詞文、置：テオク、不：不明

テアルの用例の有無を地図化すると……



[テアル構文] ー東北を除く全国
特に近畿、東京周辺に用例が多い

[逆使役構文] ー宮城、茨城

(21) ンバカ° ミサーンテ カガッテダンド。

姥神様って 書かれていたんだって。(宮城)

[他動詞文] ー全国に点在

(22) ウチノナ? ツズキサ フロ ツクッテタカラ

家のね 続きに 風呂 [場を] 作ってあったから

(北海道)³²

[自動詞文] 一埼玉、滋賀

(23) ハナオ スガッテナクッテ

鼻緒 [が] すげられてなくて (埼玉)

[テオク] 一沖縄平良

(24) マイ° ウカマガん カザリー ウキィ°

ごはん [を] かまど [の] 神 [へ] 飾ってある (平良)

[不明]

(25) ケチャイゴッタツチャハラ

書いてあったね (鹿児島)

【全国の方言における状況】

- テアル構文はおおむね東北を除く全国で使用。特に近畿、東京周辺で用例数が多い。
- 逆使役構文は宮城、茨城で使用（東北周辺に広く分布するはずだが用例は2地点のみ）。
- 他動詞文がそのままの形で非情物の結果状態を表す例が全国に点在

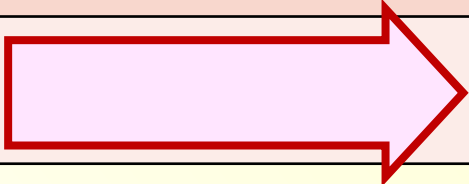
通時的・地理的な関係の推測

中央語においては……

古代のテアリ > タリ > タは過去表現に文法化
現代語のテアル構文は近世前期上方語で発達
(神永2008, 2009a, 2009b)

【通時的・地理的にどんな関係か（推測）】

	古典語	現代語
東北方言	？	逆使役構文
中央語	非情の受身	テアル構文



- 中央語では近世以降にテアル構文が発達
- テアル構文は東北方言には広まらなかった

東北方言のテアツタ>タツタ

なぜ東北方言にはテアル構文がないのか？

- ① 中央から地理的に離れていてテアル構文が伝播しにくかった
- ② 東北方言ではテアルという形式が別の文法化の道をたどった（過去表現テアツタ>タツタ）

(26) キンナ (昨日) ノ 昼間オレ靴ミガイデアッタ
(靴磨いていた) (秋田市方言、吉田2008)

(27) 10月ダノニ モウ雪 積モテアッタ。 (津軽方言、佐藤2007:217)

津軽・秋田方言のテアッタ

……継続相過去の表現 (標準語「ていた」相当)
(有情／非情の区別なく使われる)

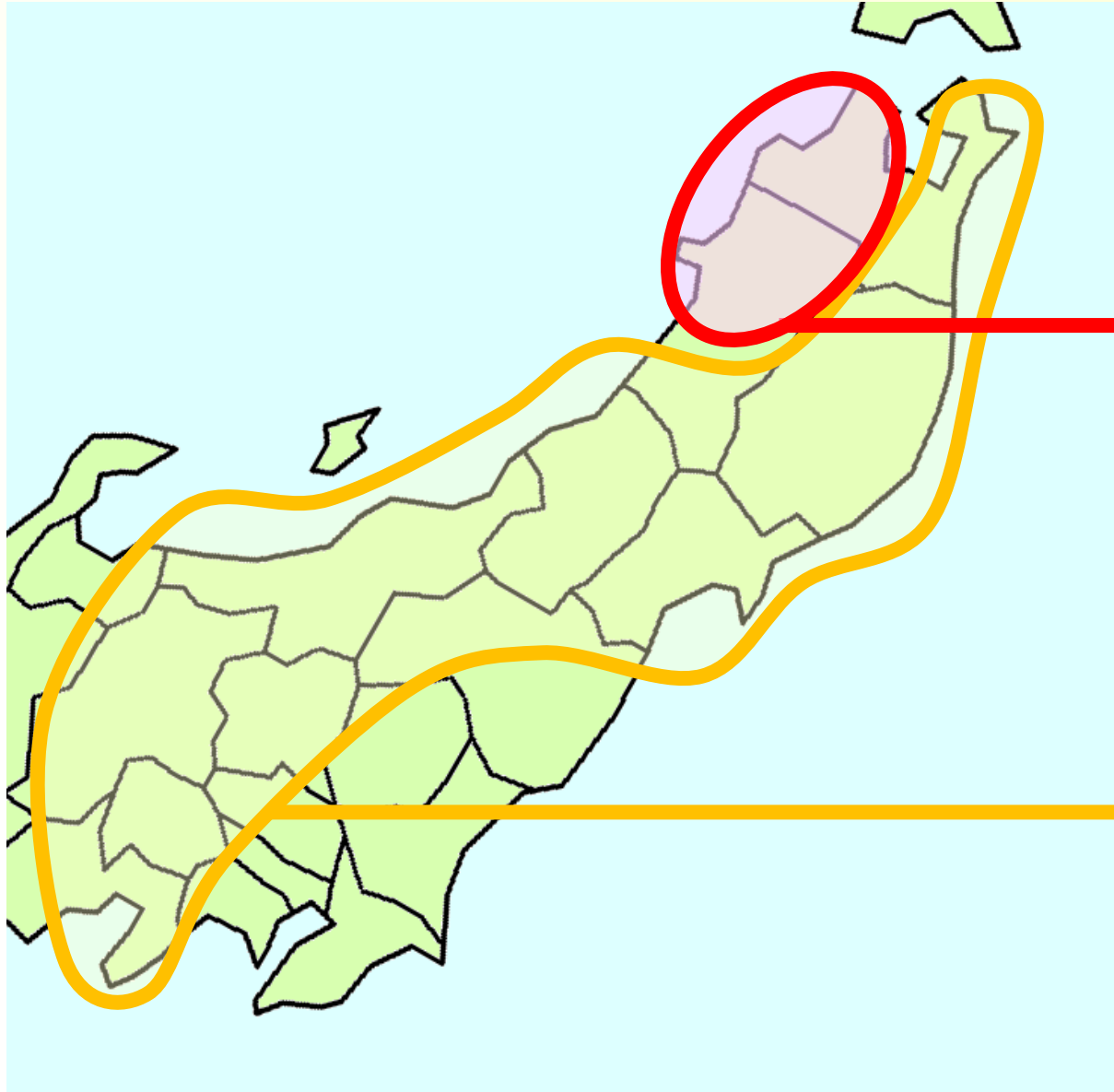
アルが有情物にも使われていた名残？ (高田2003参照)

(28) 昨日ァ、オーバーチャンノ昔話、 {聞イダ／聞イダッタ}。(岩手県遠野市方言、高田2003)

(29) 昨日、んめえ寿司 {食った／食ったった}。
(福島県北部方言、白岩の内省)

東北太平洋側のタッタ

……完成相過去の表現 (標準語「た」相当)
(有情／非情の区別なく使われる)



テアツタ > タツタが
継続相過去
（「ていた」相当）

タツタが完成相過去
（「た」相当）

東北方言におけるテアツタの文法化

【形式】 テアツタ > タツタ

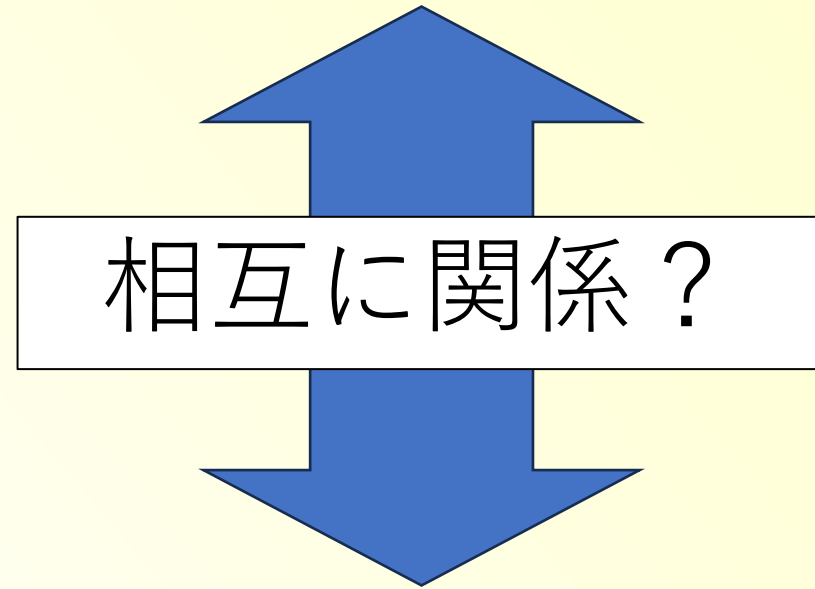
【意味】 継続相過去（標準語「ていた」相当）
> 完成相過去（標準語「た」相当）

（異説）日高（2005）は意味面で「完成相過去 > 継続相過去」という逆方向の変化を想定している。

東北のテアルは中央語とは別の文法化の道をたどった

非情物の結果状態の表現として
逆使役構文が発達

ヴォイス、アスペ
クト、テンスは
有機的な体系とし
て記述が必要



テアツタ > タツタが
過去表現として文法化

わからないこと①

他動詞文がそのまま非情物の結果状態を表すのは諸方言でどの程度許されることか？

(30) 地下の売り場にぬいぐるみ売ってる。

(31) 本にもそう書いてる。

- 山形県村山方言（竹内2018）、宮城県中田方言（工藤2014）では、他動詞文が対象物の結果状態を表すと記述
 - ・・・本発表の調査によれば全国的に広く見られる可能性がある。
 - ・・・標準語でも「本が売っている」（矢澤2007）、「お店がやっていない」（揚妻2014）のような例がある。

わからないこと②

- ・ 母音語幹型の受身接辞-areと子音語幹型の逆使役接辞-arはどのような関係にあるか
 - ・ ・ ・ ・ -areが動詞「あるar-」に由来するとして（高橋・中畠2023）、-areと-arの関係はどう捉えられるか

参考文献

- 揚妻祐樹（2014）「「お店がやっていない」—現代日本語における助詞ガへの交代現象—」『藤女子大学国文学雑誌』90
- 加藤昌彦（2000）「宇都宮方言におけるいわゆる自発を表す形式の意味的および形態統語的特徴」『国立民族学博物館研究報告』25（1）
- 神永正史（2008）「平安中期のテアリ文における他動詞構文について」『日本語と日本文学』47、筑波大学国語国文学会
- 神永正史（2009a）「中世末期以降のテアル構文—狂言台本虎明本を主資料にして」『日本語と日本文学』49、筑波大学国語国文学会
- 神永正史（2009b）「虎明本のテアル構文—競合という観点から—」『筑波日本語研究』14
- 金水敏（1991）「受動文の歴史についての一考察」『国語学』164
- 工藤真由美（2014）『現代日本語ムード・テンス・アスペクト論』ひつじ書房
- 小杉商一（1979）「非情の受身について」田邊博士古稀記念国語学論集編集委員会編『田邊博士古稀記念 国語助詞助動詞論叢』桜楓社

- 国立国語研究所編（2001-2008）『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第1巻
～第20巻』国書刊行会
- 斎藤義七郎（1961）「宮城・山形」東条操監修『方言学講座第2巻 東部方言』東京堂
- 坂井美日（2015）「熊本方言における接辞-arについて」『日本言語学会第150回大会予稿集』日本
言語学会
- 佐々木冠（2007）「北海道方言における形態的逆使役の成立条件」角田三枝・佐々木冠・塩谷亨編
『他動性の通言語的研究』くろしお出版
- 佐藤和之（2007）「方言主流社会の継続相と結果相—散テルと散テラと散テマッター」『日本語
学』26（11）
- 渋谷勝己（1989）「自発のテイル形 —山形市方言を例にして—」吉沢典男教授追悼論文集編集委
員会編『吉沢典男教授追悼論文集』東京外国語大学音声学研究室
- 渋谷勝己（2006）「自発・可能」小林隆編『シリーズ方言学2 方言の文法』岩波書店
- 白岩広行（2012）「福島方言の自発表現」『阪大日本語研究』24
- 白岩広行（2018）「福島方言の表記法を考える」『立正大学国語国文』56
- 白岩広行（2023）「福島県北部方言の主語・目的語の格標示」『立正大学文学部論叢』146

- 高田祥司（2003）「岩手県遠野方言のアスペクト・テンス・ムード体系—東北諸方言における動詞述語の体系変化に注目して—」『日本語文法』3(2)
- 高橋英也・中嶋崇（2023）「東北地方における自発表現に関する比較研究」大関洋平・漆原朗子編『分散形態論の新展開』開拓社
- 竹内史郎（2018）「日本語諸方言における被動者項を指向するパーフェクトの他動詞文の多様性」岡崎友子・衣畑智秀・藤本真理子・森勇太編『バリエーションの中の日本語史』pp.23-44、くろしお出版
- 竹田晃子（1998）「岩手県盛岡市方言におけるサル形式の意味的特徴」『国語学研究』37、pp.23-34、東北大学文学部『国語学研究』刊行会
- 中田敏夫（1981）「静岡県大井川流域方言におけるサル形自動詞」『都大論究』18
- 新沼史和（2023）「東北地方における自発表現に関する比較研究」大関洋平・漆原朗子編『分散形態論の新展開』開拓社
- 日高水穂（2005）「方言における文法化—東北方言の文法化の地域差をめぐって—」『日本語の研究』1(3)
- 矢澤真人（2007）「本が売っている」北原保雄編著『問題な日本語3』大修館書店
- 吉田雅昭（2008）「東北方言における基本的時間表現形式について—形式の変化と文法体系との相関—」『日本語の研究』4(2)